## 1.北海道(地域別調査機関:(株)北海道二十一世紀総合研究所) (・:回答が存在しない、:主だった回答等が存在しない)

				答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)
分野	景気の現状判断		判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計	良く	百貨店(売場主	お客様の様子	・近年は、衝動買いのアクセサリー・小物類、バック
動向	なっている	任)		などは売れない状態が続いていたが、今年に入ってか
関連				ら、まとめて買う衝動買いが目立っている。
		設計事務所(所	競争相手の様子	
		長)		ど、知っている範囲ではみな忙しそうだ。明らかに、
				昨年や一昨年の同時期とは様子が違う。
	やや良く		お客様の様子	・消費者心理としては支出意欲がやや改善しており、
	なっている	者)		財布のひもが緩んできた感じがする。旅行用品・ス
				ポーツ用品など、目的がしっかりしているものが購入
				に結び付いている。
			お客様の様子	・気温の変化が激しいものの、比較的高額な春物コー
		者)		トや、ジャケットを中心とした初夏物を求める客が続
		→ 11° / F	いま見るむさ	いているため、総合すると売上が増加している。
		• • • •	販売量の動き	・3か月のスパンでみると、販売点数が5%前後ずつ
		長)	化士具の動え	増えてきている。
		家電量販店(地区などの長)	<b>拠元重の割さ</b>	・シングル需要が思いのほか盛り上がらなかったが、
		区統括部長) 乗用車販売店	販売量の動き	オリンピックに向けたAV商品が好調である。 ・前年と比べて販売台数がやや良くなってきている。
		(従業員)	双元里の割ら	来場者数も増えている。
			販売量の動き	・3月の落ち込みの反動からか、4月の宿泊客は前年
		(スタッフ)	叔儿里の到已	に比べて17%ほど増加となる見込みである。
		旅行代理店(従	販売量の動き	・中国のSARSが回復基調に水を差さないか心配で
		業員)	MX70= 47 = 11 C	あるが、海外旅行の需要が回復しつつある。
		旅行代理店(従	販売量の動き	・4月は国内旅行が前年比で120%近い伸びとなり、
		業員)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	5月も前年比で2けた増の受注状況にある。また海外
		,		旅行も欧州を中心に高額商品が売れており、夏休みの
				問い合わせも多くなってきた。昨年の選挙やSARS
				の影響から前年比では判断できないが、家族旅行が増
				加していることは良い兆候である。
			販売量の動き	・ロープウェイ利用客は前年比で1割強の増加を見込
		員)		んでいるほか、レストラン・売店の売上高も同様の傾
				向となっている。
		その他レジャー	来客数の動き	・地元サッカークラブの成績不振のため、サッカーの
		施設(職員)		試合時の来場者が減ってしまっているものの、プロ野
				球チームの本拠地移転に伴い、野球の試合時には前年
				よりも大幅に来場者が増えている。ただし施設内の    ショップでは、単価も低く、それほど購買につながっ
				ショックでは、半回で低く、でればと期負にフながり    ていない。
		美容室(経営	単価の動き	・客単価が若干ではあるが高くなってきた。
		者)	十個の動と	日十個が行ってはめるが同くなってでた。
	変わらない	商店街(代表	お客様の様子	・消費税の総額表示の導入による戸惑いも落ち着いて
		者)		きたが、先行きに不安があるのか購買行動はまだまだ
				慎重である。
		商店街(代表	来客数の動き	・イラク問題や年金問題などの問題も絡んで、積極的
		者)		に商品を買おうという意欲が客にみられない。
		コンビニ (店	販売量の動き	・必要以上の商品は買わないという傾向は相変わらず
		長)		続いている。小遣いをどこで節約するかというと、昼
				食代で節約するという傾向が、ここ数年顕著に目立っ
		+w====	いま見るむさ	ている。
			販売量の動き	・客の動き・販売量ともにあまり変化がみられない。
		(店長) 衣料品専門店	単価の動き	・単価が低くなるのは夏物販売の特徴だが、買上点数
		(店員)	半川の割ら	も冬と変わりなく、ただ売上が減少している状況であ
				る。1点だけ買って満足する客が多いなど、単価の低
	1			い商品の1点買いが見受けられる。
		家電量販店(店	来客数の動き	・客数は微増であるものの、客単価は700円ほど低
		員)		く、売上は前年比98%で終わった。
		家電量販店(経	単価の動き	・客自身の商品購入時の判断材料として機能重視では
		営者)		なく、価格重視がはっきり出ている。
	1	住関連専門店	お客様の様子	・消費税の総額表示の導入により、価格競争も激しく
	1	(営業担当)		なっているが、チラシ広告や店頭プライスの表示価格
	1			の値上がり感も強く、1人当たりの売上個数が減少傾
				向にある。特にバーゲンに対する反応が鈍く、買い方
	1			が慎重であり、売上は前年比98%となっている。

	その他専門店	来客数の動き	・1年前ほどではないが、客数の落ち込みが続いてい
	[医薬品](経		る。客数の減少は落ちるところまで落ちたといった感
	営者)	東京数の動き	じだ。
	高級レストラン (スタッフ)	米各数の動き	・ランチは前月同様厳しく、前年比で15%のダウンと  なったものの、ディナーは単価アップから、前年比を
	(\(\frac{1}{2}\)		30%ほど上回った。ディナーは特に後半が良かった。
			全体では、前月から若干持ち直して前年比90%となっ
			た。
	高級レストラン	お客様の様子	・歓迎会、入学・進学祝いの会合は低調であった。大
	(スタッフ)		型連休を前に、外食控えが進んだことで全体の売上が
			前年比で20%ダウンしている。特にディナーは平日に
			開店休業状態のこともあり、前年比で30%強ダウンした。
	観光型ホテル	来客数の動き	た。  ・来客数の動きが前年とほとんど変わらず、単価も変
	(経営者)	不可数の割ら	からないので変化はない。
	旅行代理店(従	販売量の動き	・国内旅行は前年よりわずかに伸びているが、海外旅
	業員)		行で中国・香港の動きが弱くなっている。
	旅行代理店(従	販売量の動き	・国内旅行・海外旅行ともに前年を上回っている。し
	業員)		かしながら、前年は米国の同時多発テロやSARSの
			影響で、海外旅行が最悪の状況であったことを考慮す
	旅行代理店(従	単価の動き	ると、依然として厳しい状況には変わりはない。 ・ゴールデンウィークの受注が思ったほど伸びなかっ
	派1J10理店(促 業員)	<del>↑</del> ⅢV別C	・コールデンフィークの受圧が思うたはと伸びなかう。 た。
	タクシー運転手	お客様の様子	・依然として繁華街への出控えが感じられる。日勤者
			に対して夜勤者の売上が思うように伸びていない。
	住宅販売会社	来客数の動き	・マイホームセンターに来場する客が前年と比較して
	(従業員)		減っている。
	住宅販売会社	販売量の動き	・客の動きも悪いが、単価の低下もみられる。競争相
やや悪く	(従業員) スーパー(店	販売量の動き	手も非常に動向の悪さが目立っている。  ・消費税の総額表示の影響により、以前と比べ割高感
なっている	長)		を感じる客が多くみられ、買上点数が極端に落ち込ん
A 2 CV12	(2)		でいる。
	スーパー (店	来客数の動き	・季節商品は、3月が好調で推移したものの、4月に
	長)		入り苦戦が続いている。衣料品は既に初夏物を導入・
	LC /		
			展開しているが、気温低下により全くの不振状態と
			展開しているが、気温低下により全くの不振状態と なっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続し
	<i>x y</i>		展開しているが、気温低下により全くの不振状態と なっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続し ているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は
		単価の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。
	コンビニ (エリ ア担当)	単価の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態と なっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続し ているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は
	コンビニ (エリ ア担当) コンビニ (エリ		展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要が
	コンビニ (エリ ア担当) コンビニ (エリ ア担当)	販売量の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。
	コンビニ (エリ ア担当) コンビニ (エリ ア担当) 家電量販店 (店	販売量の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下してい
	コンビニ(エリ ア担当) コンビニ(エリ ア担当) 家電量販店(店 長)	販売量の動き単価の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。
	コンビニ (エリ ア担当) コンビニ (エリ ア担当) 家電量販店 (店 長) 一般レストラン	販売量の動き単価の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、
	コンビニ(エリ ア担当) コンビニ(エリ ア担当) 家電量販店(店 長)	販売量の動き単価の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラン (スタッフ) 観光型ホテル	販売量の動き単価の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。客数・売上ともに前年を10%以上下回っている。 ・団体客の小規模化や家族客の激減などにより、道外
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラン (スタッフ) 観光型ホテル (経営者)	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。客数・売上ともに前年を10%以上下回っている。 ・団体客の小規模化や家族客の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラン (スタッフ) 観光型ホテル	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。客数・売上ともに前年を10%以上下回っている。・団体客の小規模化や家族客の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくな
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラン (スタッフ) 観光型ホテル (経営者)	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。客数・売上ともに前年を10%以上下回っている。 ・団体客の小規模化や家族客の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。 ・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくなり、タクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラン (スタッフ) 観光型ホテル (経営者)	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。客数・売上ともに前年を10%以上下回っている。・団体客の小規模化や家族客の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。 ・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくなり、タクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラン (スタッフ) 観光型ホテル (経営者)	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。客数・売上ともに前年を10%以上下回っている。・団体客の小規模化や家族客の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくなり、タクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激に減っている。2月・3月と同様に札幌市内のタク
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラン (スタッフ) 観光型ホテル (経営者)	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響があるとなり、サービスメニューの販売数が減少している。各数は大きく変わらないものの、単価が低下している。・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。を数・売上ともに前年を10%以上下回っている。・団体客の小規模化や家族客の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくなり、タクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激に減っている。2月・3月と同様に札幌市内のタクシー売上は前年比で10%程度マイナスとなっている。・月末から5月の連休にかけて旅館などの来客数は埋
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラ) ( 親光型ホテル ( A 光学者 ) タクシー運転手	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響がある。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。客数・売上ともに前年を10%以上下回っている。・団体客の小規模化や家族の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくなり、タクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激に減っている。2月・3月と同様に札幌市内のタクシー売上は前年比で10%程度マイナスとなっている。・月末から5月の連休にかけて旅館などの来客数は埋まっているものの、車やレンタカー・観光バスの利用
	コンピニ (エリア担当) コンピニ (エリア担当) 家電量販店 (店長) 一般レストラ) ( 親光型ホテル ( A 光学者 ) タクシー運転手	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響がある。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。を数は大きく変わらないものの、単価が低下している。・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、・力ビスメニューの販売数が減少している。を数が減少している。・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくなり、タクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激に減っている。2月・3月と同様に札幌市内のタクシー売上は前年比で10%程度マイナスとなっている。・月末から5月の連休にかけて旅館などの来客数は埋まっているものの、車やレンタカー・観光バスの利用が多く、タクシーには回ってこないため、全体的にや
- 平/	コンピニ (エリア担当) マカリン (エリア担当) 家電量販店 (エリア担当) 家長) 一般 (スタップ・テングラング) ( 観光経ウン ー運転手 タクシー 運転手	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響がある。 ・客数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。各数は大きく変わらないものの、単価が低下している。・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、・力ビスメニューの販売数が減少している。各数が減少している。「団体客の小規模化や家族の激減などにより、道外客・地元客ともを10%以上下回っている。「例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かくなり、タクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激に減っている。2月・3月と同様に札幌市内のタクシー売上は前年比で10%程度マイナスとなっている。・月末から5月の連休にかけて旅館などの来客数は埋まっているものの、車やレンタカー・観光バスの利用が多く、タクシーには回ってこないため、全体的にやや悪くなっている。
悪くている	コンピニ (エリアリンツ (エリアリンツリンツ (エリアリンツ) (エリアリンツ (エリアリンの (エリアの)	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。・可体客の小規模化や家族の激減などにより、道外客・地元客とも客数が減少している。・例年、4月は中旬ごろから雪解けとともに暖かは4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激に減っている。2月・3月と同様に札幌市内のタクシーの利用が極端に減ってくるが、今年は4月初旬から天候が良かったせいか、客の利用が急激に減っている。2月・3月末から5月の連休にかけて旅館などの来客数は埋まっているものの、車やレンタカー・観光バスの利用が多く、タクシーには回ってこないため、全体的にやや悪くなっている。・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはマイナ
悪くなっている	コンピニ (エリア担当) マカリン (エリア担当) 家電量販店 (エリア担当) 家長) 一般 (スタップ・テングラング) ( 観光経ウン ー運転手 タクシー 運転手	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態となっている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響がはなる。名ともは大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響がはないる。名数は大きく変わらないものの、単価が低下している。一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、
	イフリアコアリン当エリアコア担電リカリア一(一(一(一(カー1カー<	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振が継続している。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響がある。 ・高数は大きく変わらないものの、単価が低下している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。・消費税の総額表示の影響が減少している。・消費税の総額表示の影響が減少している。・消費税の総額表示の影響が減少している。・消費税の総額表示の影響が減少している。・消費税の総額表示の影響が減少している。・消費税の総額表示の影響が減少している。・消費税の総額表示の影響が減少している。・別年とも客の小規模化や家族のとことも、当時により、第4月は、第4月は、第4月により、第4月には、第4月には、第4月には、第4月には、第4月により、第4月には、第4月によりを表しまり、第4月によりにより、第4月によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに
	イファックコアリン担電し フリン担電し の  の の の の の の の の の の 	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態としている。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。・団体アロの小規模化や家族のとこより、道外客・地元客とももの小規模化や家族している。・例年、4月は中旬ごろが減などにより、道外客・地元客ともものが高に減などにより、道外客・地元客とも同様に対から雪解けとともが、今年はり、夕シーの利用が極端に対か、客の利用が多クシーの利用が極に対か、客の利用のタクシーの利用が極に対か、客の利用のタクシーの利用がを対けてなるの来には前年比で10%程度マイナスとなの来のは関連があるが、名の問題が旅行業界にはスープーである。またようク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスープーでなっている。・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスープーではなっている。・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスープーでなっている。・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスープーである。また北海道観光がなり影響して、タクシーを始め、団体客の落ち込みがかなり影響して、タクラのでは、タクラのでは、カーには、カーによりでは、カーによりによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーによりには、カーによりでは、カーには、カーによりでは、カーには、カーによりでは、カーによりでは、カーによりでは、カーには、カーによりでは、カーには、カーには、カーには、カーには、カーには、カーには、カーには、カーに
	インファンク大のでは、 ファンクインク<	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振が継続している。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・月ビスメニューの吸以上を密が減少により、対している。 ・別年を10%以上で客の激減などにより、対したともに前年を10%以上で客の激減などにより、対したも客の小規模化や家が減少している。 ・例年、4月は中間があるが、今年は対しくなることがなかった。
	ファンリン ファン ファン ファン ファン ファン 担電 し の に	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振が継続している。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・当費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・別年スメニューの販売数が減少により、・売上とも客の小規模化や家族の過期などにより、・売上とも客の小規模化や家族としている。 ・例年、4月は中旬ごを対している。 ・別年の小規模化では、今年は対別のでは、今年は対別のでは、10%に対している。 ・別のの、はは、一売上は前年比で10%程度マイナスとなの来には、10%に対している。 ・月末から5月の連体に対りなが、一次体がにないのでは、タクシーのには、10%に対している。 ・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスーナスにならなっている。 ・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスーナスにならなっている。 ・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスーナスにならなっている。 ・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスーナスとなっている。 ・イラク情勢・SARSの問題が旅行業界にはスーナスになってによりででは、10%に対別のでは、10%に対別があるが、一次には対別がないた。
なっている	イファンリン (ターク)ファンリン (クーク)ファンリン (クーク)ファンリン (クーク)ファンリン (クーク)アンリン (クーク) <th< td=""><td>販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き</td><td>展開しているが、気温低下により全くの不振が継続している。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比が前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・月ビスメニューの%以上下客の別域などによりり、・売上とも客の小規模化や家が減少している。 ・例年、4月は中旬が極端に減か、客の利用が多クをは4月初のでいるものの、はは前年比で10%程度マイナスとなの来では4月初のでは、タクシーには前年比で10%程度マイナスとなの利用が多り、10%程度で流れるでは、タクシーには前年にで10%程度でが近近の来では、10%で表のででは、10%で表のでででは、10%で表のででで流れることがなかった。 ・毎年4月は歓送迎会で忙しい時期があるが、今年はでなることがなかった。 ・毎年4月は歓送迎会で忙しい時期があるが、今年はでなることがなかった。 ・毎年4月は歓送迎会で忙しい時期があるが、今年はではるることがなかった。</td></th<>	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振が継続している。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比が前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・消費税の総額表示の影響が減少している。 ・月ビスメニューの%以上下客の別域などによりり、・売上とも客の小規模化や家が減少している。 ・例年、4月は中旬が極端に減か、客の利用が多クをは4月初のでいるものの、はは前年比で10%程度マイナスとなの来では4月初のでは、タクシーには前年比で10%程度マイナスとなの利用が多り、10%程度で流れるでは、タクシーには前年にで10%程度でが近近の来では、10%で表のででは、10%で表のでででは、10%で表のででで流れることがなかった。 ・毎年4月は歓送迎会で忙しい時期があるが、今年はでなることがなかった。 ・毎年4月は歓送迎会で忙しい時期があるが、今年はでなることがなかった。 ・毎年4月は歓送迎会で忙しい時期があるが、今年はではるることがなかった。
	イファンリン (ターク)ファンリン (クーク)ファンリン (クーク)ファンリン (クーク)ファンリン (クーク)アンリン (クーク) <th< td=""><td>販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き</td><td>展開しているが、気温低下により全くの不振状態続している。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。・消費税の総額表示の影響から割せしている。・一では、大きく変わらないものの、単価が低下している。・一では、大きく変わらないものの、単価が低下している。・一では、大きく変わらないものの、単価が低下している。・例年、4月は中旬ごろが減少している。・例年、4月は中旬ごろが減少している。・例年、4月は前年比で10%程度マイナスとなの利用があるが、今年はカーカーのの、はは、カーカーのの、はは、カーカーのの、はは、カーカーにより、カーカーには、カーカーには、カーカーには、カーカーにより、カーカーは、カーカーは、カーカーは、カーカーにより、カーカーは、カーカーにより、カーカーにより、カーカーは、カーカーカーは、カーカーカーは、カーは、</td></th<>	販売量の動き 単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き	展開しているが、気温低下により全くの不振状態続している。一方、食品は牛肉・鶏肉の不振が継続しているものの、豚肉の販促強化が功を奏し、前年比は前月から8%ほど上昇している。 ・前年に発泡酒・ワインの増税前の駆け込み需要があった反動で、前年比が厳しくなっている。 ・消費税の総額表示の影響で、客の購入量が減っている。 ・消費税の総額表示の影響から割安感がなくなり、サービスメニューの販売数が減少している。・消費税の総額表示の影響から割せしている。・一では、大きく変わらないものの、単価が低下している。・一では、大きく変わらないものの、単価が低下している。・一では、大きく変わらないものの、単価が低下している。・例年、4月は中旬ごろが減少している。・例年、4月は中旬ごろが減少している。・例年、4月は前年比で10%程度マイナスとなの利用があるが、今年はカーカーのの、はは、カーカーのの、はは、カーカーのの、はは、カーカーにより、カーカーには、カーカーには、カーカーには、カーカーにより、カーカーは、カーカーは、カーカーは、カーカーにより、カーカーは、カーカーにより、カーカーにより、カーカーは、カーカーカーは、カーカーカーは、カーは、

企業 動向

関連		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・競争相手先における材料の調達が困難な状況の中で、材料を確保できる企業が受注を受けられるようになっている。
	やや良く なっている	食料品製造業 (経営者) 通信業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き 受注量や販売量 の動き	・本州向け商品の発送量が多くなり、工場はフル生産に近い状態が続いている。 ・受注が増えてきたのと並行して、価格が高めのサービスも機能が良ければ利用したいという声が増えてき
		その他非製造業 [機械卸売] (従業員)	取引先の様子	た。 ・デジタル家電や自動車パーツ用のプラスチック金型の国内向け受注が絶好調であり、金型製造企業では短納期を要求され、土日はもちろんゴールデンウィークも出勤して注文を消化している状態にある。
	変わらない	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・先月までは少し良くなってきた製造メーカーも、ここにきて原材料等の高騰から採算ラインがきつくなり、生産調整の動きが出てきた。
		金融業(企画担当)	それ以外	・設備資金の需要は相変わらず乏しい。地場の鉄鋼・ 金属製品メーカーは素材価格の急騰を製品価格に転嫁 できず、収益面が厳しくなっている。
		司法書士	取引先の様子	・道外の一部地域において、景気が上向いているようにマスコミで報道されているが、北海道は依然として変化していない。特に建設業や不動産業が伸び悩んでいるのが特徴である。
		その他サービス 業 [ 建設機械 リース ] ( 支店 長 )	受注価格や販売 価格の動き	・少ない商材に競合が激しく、受注価格も採算に合わない水準にならざるを得ないケースがある。
	やや悪く なっている	-	-	-
	悪く なっている			
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・派遣の依頼が増加傾向にある。派遣職種としては一般の事務系や販売・販売促進の需要が高まっている。企業が売上確保に本格的に力を入れ出してきている様子がうかがえる。さらに紹介予定派遣の問い合わせも増えている。質の高い人材の確保にも動き出している。反面、スキルの低い正社員を雇用調整しようという動きもみられる。企業内においてスキルの住み分けの動きが活発化し、低いスキルの人材は失業者の予備群とも映る状況にある。
		求人情報誌製作 会社(編集者) 求人情報誌製作		・建設業の求人件数が前年比で15%増加しているほか、サービス業も堅調に推移している。 ・建設関連や居酒屋などの飲食業の求人が若干伸びて
		会社(編集者) 職業安定所(職 員)		きている。前年との業種比較でも伸びてきている。 ・新規求人は4か月連続で増加している。特に、食料 品製造業やサービス業での増加が目立っている。
		学校[大学] (就職担当)	求職者数の動き	
	変わらない	求人情報誌製作会社(編集者)	雇用形態の様子	
		新聞社[求人広告](担当者)	雇用形態の様子	・求人件数はほぼ前年並みであるが、依然として契約 社員、パートの求人が多く、賃金は極めて低く抑えられている。特に運転手の募集は大型免許所持者でも日 給7千円台という企業もある。
		職業安定所(職員)	雇用形態の様子	
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は0.44倍で、前年と比べ0.03 ポイント上回ったが、パート求人の占める割合が高 く、雇用環境は引き続き厳しい環境にある。
	やや悪く なっている			
	悪く なっている	-	-	-
	1 ~ ~ ~ v · o	1	li	ı